

穂 別

H o b e t s u

地域自治区だより



<発行元> 〒054-0211

むかわ町穂別2番地1

むかわ町穂別総合支所 地域振興課

TEL(0145)45-2111

むかわ町地域協議会第2回合同会議(第25回穂別地域協議会)が開催されました！！

10月31日(金)に穂別町民センター集会室において、むかわ町地域協議会としての第2回合同会議(兼第25回穂別地域協議会)が開催され、穂別地区から6名、鵜川地区から8名の計14名の委員出席により、基調講演と意見交換、委員交流会が行われました。基調講演では、昨年の第1回合同会議に引き続き、首都大学東京の大学院教授大杉寛氏より「コミュニティからの自主創造～合併後のまちづくり～」をテーマに1時間に渡る講演が行われ、中央情報のほか全国各地で行われている先進的な取組事例やむかわでの取り組みに対するアドバイスなどが行われました。主な要旨は次の通りです。

① 基調講演の概要「コミュニティからの自主創造～合併後のまちづくり～」大杉首都大学院教授

- ・国の動きは地方分権に向いており、これまでの「地方自治体」概念から「地方政府」概念に移行する動きがあり、地域のことは国主導ではなく、地域主導で考えること。当然責任も地域が担うことまで検討されており、そのために一定規模の自治体組織が必要となり、より大きな括りで地域が再編成される「定住自立圏構想」がこれまでの合併構想に加わって検討されている。この考え方にはまだ大きな問題点もあり、すぐに移行していくことは考えにくい、いずれにしても、現時点からしっかりした自治が行えるよう、根本になるコミュニティの段階で自治を確立しておく必要がある。

- ・福井県若狭町大鳥羽地区、島根県益田市種地区、新潟県上越市安塚地区、東京都多摩市の先進的な事例が紹介されましたが、これまでの固定的な考え方ではなく、いかにして住民の声を運営に反映させるかという点に特徴があり、色々な工夫と地域でのコンセンサスがポイントとなっていました。

- ・地域協議会も3年目を迎え、これまでの協議の成果を一定程度具現化する仕上げの年に入ります。地域の皆さんの意見を反映できるような取組により、地域全体の成果となるよう期待がされています。

- ・そして、そうした取組みが「創発」として地域に循環する取組みになるよう激励されました。

② 意見交換

- ・前回の合同会議以降のこれまであり、成果と共に、これまでの苦

- ・意見交換では、合併後の一体感兆しが見えないが、子ども達にはる状況がある。これから様々な

- ・大杉教授の助言は、地域のこともコミュニティ組織も同じ。併せて良かった。」と自信と誇りを

自身自身の頑張り次第。とエールが送られました。そのためにも出来るだけ多くの地域の声をつかむこと。支持されること。地域協議会は肩肘張らず自然に行動すべき。その地域の一番住民に近くて一番動ける地域に根ざした団体となるべき。とのお話でした。

* この基調講演には、地域協委員のほか、議会議員、一般町民、役場職員など72名の出席がありました。



の各地域協議会の取組状況がそれぞれ労や問題点が紹介されました。

の醸成については、大人ほどまだまだすでにむかわ町が当たり前になっていく取組みが架け橋となっていく。

を考えるのは、行政も議会も地域協議れぞれの役割分担をしっかりと、「合持つて言えるようにしていくのは皆さ

第26回穂別地域協議会が開催されました。

11月21日(金)にむかわ町穂別総合支所委員会室において、第26回穂別地域協議会が開催され、7名の委員出席により、第2回合同会議の開催結果報告と景観整備に係る地域PRについて協議されました。地域PRについては、これまで協議してきた景観整備事業の趣旨を町内各自治会・団体・事業所・住民に対しどう理解してもらい活動に繋げていくか大変重要な課題であり、関西学院大学の小西教授、そして首都大学東京の大杉教授からの助言にもあった通り、事業の成功を左右させる大変大きなポイントとなることから協議されたものです。主な要旨は次の通りです。

① 穂別花・緑いっぱい隊の設立協力依頼について

② 景観整備事業のPR、協力依頼について

- ・委員が分担してPRすることには不安がある。
- ・せっかくここまで協議してきたので是非やるべき。
- ・理想はそうだが、委員も仕事を持っていたりするので現実には無理ではないか。
- ・自治会はこれまでもそれぞれにそうした活動をしてきており、理解が得られ易いと思う。事業所等は一部取り組んでいる所もあるが、全般的にはこれからのPR次第の所がある。
- ・事業所等も地域貢献活動の一つとして環境や美観を意識した取組活動をしなればいけない時代。少しずつでも進むようやっていくべき。



- ・国道274号線から稲里を通して穂別に来るまでの道道の草刈が特にひどい。子供が自転車で危ないと苦情を言うとその部分だけは改善される。
- ・確かに道路管理の問題はあるが、それだけの所為にしても解決しない。
- ・一旦会長名で依頼文書を出し、趣旨説明を行い、重点箇所など必要に応じて訪問依頼する。

③ レンギョウの試し植えについて 平成20年11月26日(水)午後1時30分より

・レンギョウは中国原産のモクセイ科の高さ2～3mの落葉樹です。春先に黄色い花を沢山付け、鵜川のタンボポに通じる黄色ということと、繁殖力が強く、道端に植えても融雪剤の塩害に強いということで、新たな並木づくりの樹種候補として提案されたものです。これまでは、桜やツツジが検討されてきましたが、レンギョウは時折見かけるもののあまり良く知られていないため、キャンプ場と森林組合前に試し植えをすることとしました。

④ その他(意見交換)

- ・以前に協議していた道端の廃車対策だが、鉄の高騰もあってかなり無くなった。それは大変良いことだが、又鉄の値段が下がるとどうなるか心配。
- ・廃屋解消についても町外者に依頼したが、宛先不在で戻ってくる。町内はこれから協力依頼していく。
- ・町民センターの改築計画あったが、町民の意見を聞く機会が無いのではないかな。
- ・町民センター改築は、暖房や給排水、窓枠など基本的な部分の老朽化に伴う改善につき、町民の意見・要望を伺うような内容になっていない。しかし、意見要望があれば、予算的な余裕は無いが伺う。

《まちづくりセミナー小西関西学院大学教授》【講演概要】平成20年10月3日(金)町民センター 集会室

・3年で合併の検証はまだ出来ない。しかし、当事者の一人という意識があるのでこれからも依頼があれば色々な形で検証作業に加わりたい。町民も行政も職員も合併を前向きに捉え、お互いに努力している。しかし、それがお互いに伝わりきっていないこともあり、ガス抜きの必要。

・小泉改革があまりにも強烈であった分そのひずみがここに来て噴出している。先が見えない。ただ、交付税や公共事業、そして職員が減ることとはしばらく続き、疲弊感が大きいけど合併したメリットはこれからやっと出てくるので、それまでは我慢してやっていって欲しい。むかわは損な合併ではなかった。とだけは断言できる。

*ご意見・ご提言は、むかわ町穂別総合支所地域振興課 地域づくり担当までお願いします。

Tel : 0145-45-2111 内線3118 斉藤

Fax : 0145-45-3048

〒054-0211 勇払郡むかわ町穂別2番地1

むかわ町穂別総合支所 地域振興課 地域担当